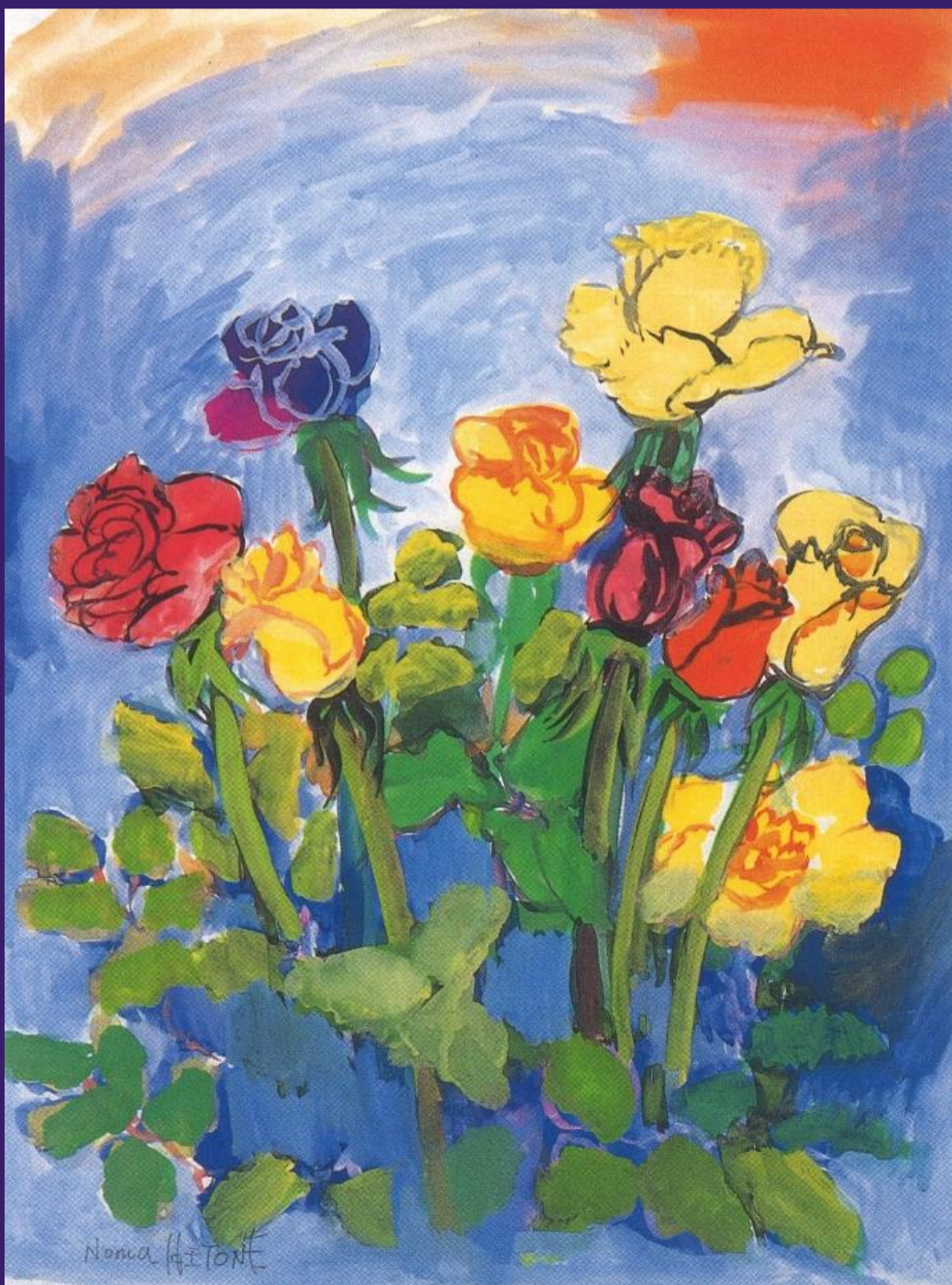


野間仁根 館蔵品展

バラ コレクション

2025 3-15 (土) ~

2025 7-13 (日)



《バラ》1969年



《壺に生けられたバラ》1968年

野間仁根  バラのミュージアム
(今治市吉海郷土文化センター)

開館時間 / 9:00~17:00 (入場は16:30まで)

休館日 / 月曜日 (祝日の場合は直近の平日)

入館料 / 一般 310円・学生 160円

高校生以下または18歳未満 無料

※大人団体 (20名以上) 250円

※65歳以上の方 250円

※障害者手帳をお持ちの方及びその介助者1名は無料



公式HP



《バラ》1969年



《バラ》1969年



《薔薇》制作年不詳



《薔薇》制作年不詳

この度の企画展では、「野間仁根バラのミュージアム」の名称の由来でもある薔薇の作品を一挙に展示いたします。

仁根は、色鮮やかで生命力にあふれる薔薇の作品を油彩や水彩等で数多く描いています。薔薇の開花時期には、隣接するよしうみバラ公園の400種、3,500株の薔薇とともに色鮮やかな世界をお楽しみください。

野間 仁根

Noma Hitone

(1901 - 1979)



◆ 略歴 ◆

- 1901年 2月5日越智郡津倉村(現今治市吉海町福田)に生まれる。
- 1919年 伯父を頼り、母と上京。
- 1920年 川端画学校で学び、東京美術学校(現東京芸術大学)に入学。
- 1924年 第11回二科展で「ランプのある静物」が初入選。
- 1925年 東京美術学校を卒業。
- 1928年 第15回二科展で「夜の床」が樗牛賞受賞。
- 1929年 第16回二科展で「ぜ・ふうるむうん」が二科賞受賞。
- 1931年 佐藤春夫作「むさしの少女」に挿絵を描く。
- 1932年 津倉村に於いて志那と結婚。
- 1933年 二科会会員に推挙される。
- 1944年 郷里(津倉村)に疎開。軍の命令で二科会解散。
- 1945年 二科会が再建され、入会。
- 1955年 二科会脱退。同年、鈴木信太郎らと一陽会を結成。その後、個展や小規模なグループ展を開催。
- 1979年 12月30日、78歳で逝去。吉海町の福蔵寺に眠る。

◆ アクセス ◆

愛媛県側から

- [自動車] しまなみ海道大島南ICから約10分
- [バス] 松山市駅/今治駅より
大三島行き高速バスにて「吉海支所」
下車、バス停より徒歩15分

広島県側から

- [自動車] しまなみ海道大島北ICから約10分
- [バス] 広島バスセンター/福山駅前より
しまなみライナーにて大島BS下車、
島内路線バスに乗換
「幸(さいわい)」下車、バス停より徒歩10分

